

のに気づいた火明命は大変怒り、風波を起こして船を難破させてしまいました。その時、船や積み荷などが流れ着いた場所に「船丘」「犬丘」「笥(はこ)丘」「琴丘」など14丘の名が付けられましたが、その一つ、蚕子(ひめこ)の流れ着いたところが「日女道丘(ひめじおか)」で、現在姫路城のある「姫山」であるとされています。「蚕子」は古語で「ひめじ」といいます。地名としての「姫路」という呼び方は、江戸時代初期、池田輝政が姫路城を築き、城下町を整備した当時の文献に見られるとのこと。

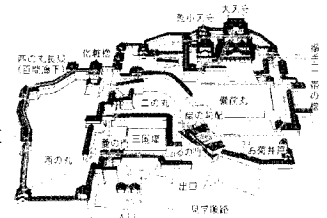
木下家定が城主であった時代のこと、姫路に立ち寄った宮本武蔵が妖怪を退治した伝説、城内の上山里丸と呼ばれる広場にある「お菊井戸」は、有名な「播州皿屋敷」に出てくる井戸であると伝えられていることや、また昔から抜け穴があるとの伝説もありました。調査の結果、いまだ発見されていません。しかし、濠の中の水底下に隠された堤があり、この堤の上をたどれば、歩いて濠を渡ることも可能です。このような非常の場合の間道としての工夫が随所に見られます。

平成20年4月には、姫路駅(城)周辺において全国菓子大博覧会『ひめじ菓子博』が開催されます。

菓子博は、明治44年(1911年)に東京で「第1回帝国菓子大品評会」が開催されたのを皮切りに、数年おきに全国各地で開かれている“お菓子の祭典”です。日本各地から集まったお菓子の展示・販売をはじめ、菓子職人による「芸菓子の披露、伝統・歴史紹介など、お菓子に関するあらゆるものや情報が一堂に会する会場には全国から多くの方が訪れると言われております。

この機会にぜひ一度、姫路城を訪れて、その雄大さと素晴らしさにふれてください。姫路城は、姫路駅から北へ約1km。アクセスは、姫路駅北から徒歩約15分。バスでは約5分のところにあります。

(株)横山基礎工事 大野 剛



## 私の履歴書

(株)東京製作所 代表取締役社長 井上 八郎

今回は事務局がご多忙な井上社長を本社にお伺いしてインタビューしました。



井上 八郎 (いのうえ はちろう)  
昭和3年7月28日 長野県生まれ  
昭和35年 (株)東京製作所設立  
代表取締役社長に就任

■郷里・幼年時代・学生時代  
長野市善光寺の北方にある長野市豊野町に生まれた。家は蚕を卵から飼いで繭をつくり、絹糸をとる養蚕業と、林檎を栽培していた。春は山でワラビとり、夏は用水池で水泳ぎ(千曲川まで30分かかるので) 秋は裏山で松茸・シメジの茸採り、冬はスキーに興じた。

中学1年のとき戦争がはじまった。中学4年のとき世界での二大海軍兵学校(アナポリス・ダートマス・江田島)の一つの江田島に、昭和20年4月に入校。ここで至誠・言行・気力・

努力などの五省による、明治21年の開校以来の伝統による人間づくりの薫陶を受けた。

8月15日終戦になり、郷里に帰るとき、8月23日に原爆投下直後の広島駅を通過したときの「原爆ドーム」の痛々しい姿と、爆心地から離れて残った「茶色の松林」が強く印象に残っている。学業を続けるため、旧制松本高等学校理科(現信州大学理工学部)に入学。昭和23年に卒業。

### ■社会に出て

卒業後、昭和25年まで、新制中学校で教鞭をとった。その後東京に出て、基礎機械の製造・修理を行う町工場、旋盤・シューパー・ボール盤の機械工作と製造・溶接のものづくりの実技習得と経験を10年間積み重ねた。これが会社の設立後の現場指導と経営に役立つ。

### ■会社の歴史

昭和35年創業以来、土木・建築基礎機械で「お客様の要望による、特注機の開発と製作」を行ってきた。

これからの機械はいずれも、軟岩・岩塊の掘削に遭遇しても、優れた掘削性能を実現している「TS超硬刃先」を装着している。

この「TS超硬刃先」は、超硬チップを取付けて、地盤掘削用の刃先として実用に供し、多くの実績を持ち、信頼を頂いてきた。

「TS超硬刃先」を装着している機械の開発。

- H A M A N 工法機 リバースによる拡底工法。評定取得機
- O M R - A 工法機 リバースによる拡底工法。評定取得機
- A N S 工法機 アースドリルによる拡底工法。評定取得機
- M M T 工法機 アースドリルによる拡底工法。  
(財)日本建築センター評定取得機
- Super KING 工法機 鋼管杭先端拡大根固め工法。  
国土交通大臣認定取得機
- T B S 工法機 鋼管杭中堀根固め工法。  
国土交通大臣認定取得機
- T B S R 工法機 鋼管杭中堀拡大根固め工法。  
国土交通大臣認定取得機
- F B 9 工法機 鋼管杭中堀拡大根固め工法。  
(財)国土技術研究センター審査証明取得機

平成2年、業務拡大により、行徳工場開設。

### ■経営理念

「三木清」氏の哲学「人間論ノート」が、私に指標を与えてくれた。

「古代の人間の理想が賢者であり、中世のそれが聖者であったように、近代のそれは企業家であるといい得るであろう。

近代的な冒険心と合理主義とオプティミリズムと、進歩の観念との混合から生まれた最高のものは企業家的精神である」。

それで、今の仕事を始めたし、仕事で自分を形成することを目指しました。私には、仕事は生きる目標であり、人間として生きる事そのものでした。

姓名学家による鑑定でも、宿命の運・才能(明晰な頭脳・理性的・合理的)・人柄(温厚・誠実)・姓と名の調和(純粹・強い感受性・活動的)が大吉。強固な意志力・的確な判断力・企画力と行動力(大胆な実行)・しぶとい忍耐力・旺盛な独立運・着実な再興発展運(会社を躍進させる)をもち、努力を重ねて目的を達成する人とか。

### ■信条・趣味

信条は「シンプルイズベスト」。「シンプルイズベスト」とは「単純な仕組みが良い」ということでなく、「新しい技術思想に基づいて製作された、合理的なものが良い」という意味。

「「シンプルイズベスト」とは「シンプリシティ イズ ザ イノベーション」であり、ハイテクに他なりません。」技術革新とは単純化することであり、しかも単純化とは高度な技術思想と技術力があって初めて実現できる、ということなのです。

趣味は読書(哲学・文学・漫画)・音楽を聴く・園芸・